

愛は寛容であり、愛は親切です。

また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。

礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、
人がした悪を心に留めず、不正を喜ばずに、真理を喜びます。

すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。

愛は決して絶えることはありません。

第一コリント13章4～8節、新改訳2017

世の中には色々な愛があります。しかし、完全に真実な愛は、愛の源である神様から来ます。人は神から離れていても、ある程度なら互いを愛することができるかもしれません。しかし、結婚する男女が、家族や友人同士が、そして私たち全てが、あらゆる恐れや憎しみを乗り越えて、本当に愛し合って幸せに生きていくためには、神様の助けが必要です。私たちの心を永遠に満たし続ける神の無条件の愛が必要です。心を開いて、この素晴らしい神様の愛を人生に受け入れたいと思われた方は、ぜひ次のように心を込めてお祈りして下さい。

「天の父なる神様、今日、あなたの愛を知りました。私の人生に、

あなたのゆるしと、あなたの愛が必要です。どうか私の罪を

ゆるして下さい。私の心を、あなたの愛でいつまでも満たして下さい。

イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン」

神の愛や聖書についてご関心を持たれた方は、ぜひQRコードにアクセスして下さい。天のお父さんからのラブレターや、神様のことがわかる様々なコンテンツをご紹介します。



有名俳優の演技力と驚きの臨場感で 聖書を聴き、
読むことができる 無料アプリ「聴くドラマ聖書」
ダウンロードして是非聖書を読んで下さい



あなたの心を
永遠に愛で満たす
本当のバレンタイン
ストーリー

わたしの目には、あなたは高価で尊い

わたしはあなたを愛している

バレンタインの日に、こんなストレートな愛の告白を受けたことはありますか？
実はこの言葉は、このチラシを手にしたあなたへの、ある方からの真実の愛の告白です。その告白は、なんとあなたの造り主である「神様」からのものなのです。(旧約聖書、イザヤ書 43章4節)

今から1700年以上前のこと、この神の真実の愛に心を動かされ、命をかけて愛を説いた人がいました。その人の名前は「ヴァレンティヌス」、ローマ皇帝によって2月14日に処刑された人物であり、後に彼の死を記念して生まれたのが、世界中で毎年祝われている「ヴァレンタインデー」なのです。

ヴァレンティヌスはなぜ殉教したのか？



当時のローマ皇帝クラウディウス二世は、「若者が戦争へ行きたがらないのは、故郷に残る家族や恋人と離れたくないからだ」として、兵士が結婚をすることを禁じていました。しかしそんな中、愛し合っているのに結婚できない男女への愛と憐みの心に動かされ、彼らを密かに結婚させていた勇敢な人がいたのです。それが、キリスト教の司祭のヴァレンティヌスでした。

聖書によれば、結婚の創始者は神であり、神が人を男と女とに造り、結婚を通して男女が生涯愛し合うように定められました。ヴァレンティヌスは、神が与えた結婚という贈り物を、皇帝の命令を破ってでも大切にしようとしたのでしょう。しかし、やがてその密かな行動はローマ皇帝の知られるところとなりました。怒った皇帝は彼を問いただし、二度と法に背かないように命じました。

当時、皇帝は絶対的な「主」と見做されていましたので、逆らうことには命の危険が伴います。それでもヴァレンティヌスは皇帝に従わず、愛の尊さを説く姿勢を貫いたために、西暦269年2月14日に処刑されたのです。以来、彼の殉教の死に心を動かされた人々が、2月14日にヴァレンティヌスの死を記念するようになったことが、今日まで続くバレンタインデーの始まりだったのです。

ヴァレンティヌスは、なぜ死を恐れなかったのでしょうか？ 確かに言えることは、ヴァレンティヌスを愛し、彼のために命を捨ててくれた方の愛が、彼の心から恐れを取り除いたからです。その方の名前は「イエス・キリスト」、西暦30年に、ローマ帝国によって十字架刑で処刑された人物です。

イエスはなぜヴァレンティヌスのために死んだのか？

聖書は、次のように教えています。

「愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償うけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。」

ヨハネの手紙一 4章8-10節 新共同訳

私たち人間は誰でも罪を持っています。神様の前に「自分には罪がなく、完全に正しい」と言える人は一人もいません。だから私たちには、神のゆるしが必要であり、そのために神様は、ご自身の独り子の命を、罪の身代わりの犠牲として捧げてくれました。私たちが神と共に永遠に生き、死ぬことの無いためです。

例えば、目の前に心臓移植をしなければ死ぬ人がいるとして、あなたの一人息子の心臓が適合するとわかった場合、あなたは息子の心臓をその人を救うために提供することができますか？あなたにとって、その心臓移植を必要とする人が、息子と同じくらい大切にしなければ、そんなことは決してできないでしょう。しかし神は、あなたのためにそれをしたのです。それほどまでに、あなたは神にとって高価で尊い存在だからです。あなたがこのゆるしと愛を受け入れ、永遠に神の愛の中で幸せに生きること、それが神があなたに最も望んでいることなのです。

ヴァレンティヌスが死を恐れず愛に生きることができたのは、自分の罪を認め、命を与えるほどの神の愛と赦しを受け入れたからでした。そして、彼の中に注がれていたのと同じ永遠の愛を、神は、この手紙を読むあなたの心にも満たそうとしておられるのです。

